

(小鍵隆史参議院議員挨拶)

いつも大変お世話になっております。

ご紹介を賜りました参議院議員の小鍵隆史でございます。

今日はお出にくい中、こうして黨員、党友の皆様お集りいただきました。誠にありがとうございます。

先日、自民党の総務会、役員会におきまして、来年の夏の参議院議員選挙 自民党の正式な公認候補として滋賀県から申請していただくと決定いただきました。

早いものでもう5年が経つのかと思っております。

あっという間の5年でございました。

当選直後から国会では予算委員会の委員として4年間政策論議に参加させて頂きました。

昨年は国会対策副委員長として国会の運営に携わらせて頂きました。

党では、中小企業対策、エネルギー政策、経済政策を中心に活動してまいりまして、去年の9月からは厚生労働大臣政務官を拝命いたしております。

特に、コロナの状況で、コロナ対策はじめ健康、福祉を中心に厚生労働行政に携わらせて頂いております。

そういう意味で、様々な分野において様々な経験をさせて頂いた5年間であったと思っております。

その経験を、日々それをこなしていくので精一杯で今まで走ってきました。

まだまだ足腰弱くよちよち歩きの状況でございますけれども、しっかりと経験を積みながら次のステップに進めるようにしっかりと頑張っていきたいと思っております。

先ほど来、選挙区の衆議院議員の先生方から様々なお話がありました。

インフラ整備の問題、数々その成果がご報告されていたと思います。

5年前、ちょうど私が選挙でこのインフラ整備は滋賀県の最大の課題のひとつであると訴えていたのを聞きながら思い出しておりました。

当時は、滋賀県の社会資本整備は下位から数えて何番目だ、ということで「しっかりしろ」というお話もありました。

お陰様で、社会資本整備は、国からの伸び率でいいますと上位に位置づけになるような状況に至っております。

今日、参加頂いている国会議員が力を合わせて、そして県議会議員の皆様、市議会議員の皆様、町議会議員の皆様、そして自民党員の皆様が力を合わせるにより一つ一つ課題が前に進んできたと思います。

これがまさに自民党の底力であろうと思います。

様々な課題がございますが、この近年まれにみる最大の災難・災害でありますコロナの状況、みんなで力を合わせて必ず克服できると思います。

この自民党の力を、これから、自民党は大変厳しい状況、大変な逆風が吹く厳しい状況にもありますけれども、政権与党として批判は浴びる、これは覚悟して、その中でも一つ一つ課題を前に進めていく、その覚悟で力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

本日はどうもありがとうございます。